


423 災害時にも円滑な燃料供給を可能とする設備の開発

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
横田瀝青興業株式会社 【平成 29 年】	9140001062199	サプライ関連事業者 【卸売業、小売業】	兵庫県
<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災で、横田瀝青興業株式会社は大手通信会社から主要ネットワーク施設や復旧工事車用の燃料支援要請を受け、仙台市で発災 30 時間後から約 2 ヶ月半、軽油やガソリン等を継続供給した。当時ガソリンの安全な操業環境の確保と携行缶、ドラム缶等の資材不足が課題だったため、同社は燃料を確実に届けるために日常業務やサプライチェーンを見直している。 ● 同社は震災での経験を活かし、災害時、円滑に燃料給油する手段として、タンクローリー直結型災害時用燃料計量ポンプを開発した。利用は、消防庁が東日本大震災後に発出したガイドラインに基づき、災害時かつ二次災害への安全対策が可能な場所のみだが、タンクローリーをそのまま活用する給油形態は、場所やインフラの損傷程度に影響されない新しい災害時用燃料供給システムだと同社は考える。 ● 近年では、排気ガス無害化薬剤（アドブルー）を必要とする大型トラック・重機の普及が進み、燃料に加えてアドブルー補給の需要が高まったため、同社では平成 28 年にアドブルーと燃料を混載し供給できるタンクローリーを開発した。平時には工事現場向けに、有事の際には物流拠点や復旧・復興の現場にアドブルーと燃料の同時供給対応できる。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p style="font-size: small;">Point 1 "タンクローリーに直結"して軽油・灯油はち55リットルの給油を行うことができます。</p> <p style="font-size: small;">Point 2 被災地の状況に合わせて燃料給油地点を柔軟にかつ速やかに展開できます。</p> <p style="font-size: small;">Point 3 一般市民との混雑を避けて"緊急車両専用"の臨時給油所を設置できます。</p> <p style="font-size: small;">Point 4 積込番号による給油管理機能により、複数の組機・団体による共同利用に対応できます。</p> <p style="font-size: small;">Point 5 100Vの他12V・24V電源(※)にも対応。タンクローリー等の電源を利用して即座に運用できます。 (※)12V/6V/24V/48V/96V/192V/384V</p> <p style="font-weight: bold; margin-top: 10px;">▲タンクローリー直結型災害時用 燃料計量ポンプ</p> </div>			